

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	下村地区 環境保全、景観形成事業
事業主体 (連絡先)	下村地区活性化委員会 藤本照之 TEL:0265-27-3083
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,650,780円(うち支援金:1,162,000円)

事業内容

- ・年間通じて花の輝く地域にするため、三遠南信自動車道千代インター周辺市道にレンギョウ8カ所800本、水仙4カ所1,000球、シヨッカサイL=52m2袋を植樹、植栽した。30年11月17日実施。参加者大人30名子供18名。又、地区内花壇での草取りや6月30日、10月27日に地区民全体で四季咲桜、楓等の下刈り手入れ等参加者人員125名
- ・JR飯田線千代駅周辺は荒農地となり竹が繁茂しており、ツアー客及び観光客等が多勢来て、散策、ウォーキングをしているが、視距が悪いため環境、景観を回復させた。伐開期間1月28日～3月5日 参加者5名伐開面積500㎡
- ・地区内を安心して散策できる様に(仮)三遠南信道天竜峡大橋千代側に観光看板を設置する。又、看板に有事の際の公民館、集会所の位置を示す。3月6日現地で設置。参加者3名



【目標・ねらい】

- ①観光客の増加をねらう
- ②地区住民間のまとまりができる。

事業効果

・全国的にも稀な天竜峡大橋下に位置する歩行者用道路ができるので観光客の入りは桁外れに多いと思われる。そのため、橋を渡った場所(広場)に設置し、地区内の散策、花見をしてもらい「行ってみたい下村、住んでみたい下村」をアピールし地区外からの若者定住を促進すると共に地区一丸となって、取組み、それにより地域住民が協力し合い地域への愛着が生まれた。

今後の取り組み

- ・除草、下刈り等をしっかりと行い、次世代の若者が安心して生活できる地域作りを目指す。
- ・看板設置場所(広場)に最盛期間(10月下旬～11月中旬、3月下旬～4月上旬位)にはおもてなし場所を設け湯茶の接待、ガイドを置きアピールを続ける。

※自己評価 【A】

【理由】

地区民及び観光客の方が下村地区に来てもらえる土台ができた。